

令和3年度入学式 式辞

本日ここに、令和3年度 水産大学校入学式を挙げるにあたり、水産大学校校長として式辞を申し上げます。本科197名、専攻科50名、水産学研究科11名の皆さん、入学・進学、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

本来であれば、これまで皆さんを支えてこられた保護者の皆様、そして、本校に対して並々ならぬご支援とご理解を賜っている水産庁、下関市、水産大学校同窓会の滄溟会および後援会からのご来賓ともども、盛大に皆さんをお迎えしたいところですが、新型コロナウイルス感染予防の観点から、縮小して実施せざるを得なくなったことを、たいへん残念に思います。

昨年一年間は、新型コロナウイルス感染のパンデミックという、未だかつて経験したことがない事態で終始しました。全国の大学では、授業の中止や授業計画の大幅な見直しを余儀なくされ、水産大学校でも授業開始を一ヶ月以上遅らせた上、ほとんどの授業は遠隔形式で行わざるを得なくなりました。入学式を始め、多くの行事も中止に追いやられ、これまでの大学生活が一変しました。皆さんの高校でも同じようなことが起こったのではないかと思います。しかし、高校とは異なり、全国から学生が集まり、活動の範囲も飛躍的に広がる大学では、より一層厳しい対応をとらざるをえない現実があり、学生には我慢を強いる一年間になってしまいました。

ワクチン接種が徐々に動き出しましたが、感染収束の見通しはたたず、それどころか再び感染拡大の兆候さえみられます。それでも水産大学校では、一年間にわたる新型コロナウイルス

感染対応を経て、登校時の検温や消毒，乗船実習時の PCR 検査をはじめ，本校における感染予防体制を整えてきました。これらの経験を活かし，この四月からは，一部遠隔形式を取り入れながらも，万全の予防対策を講じつつ，対面形式を基本とした授業を受けてもらえるよう，準備を進めてきました。また，昨年は中止していたクラブ活動も，一定の制限をかけながらも解除していきたいと思います。こうすることで，新型コロナウイルスの存在を前提とした，水産大学校における新しい大学生活を，皆さんとともに築き上げていきたいと思います。

さて，皆さんはそれぞれ，将来，水産の世界で羽ばたくことを夢見て水産大学校に入学されました。一口に水産と言っても，現在の水産には実にさまざまな分野が関わっています。水産とは無縁だと思われるような企業や業種が参入することも，ごく普通のことです。それと同じように，水産大学校で学ぼうと，全国から集まった学生の皆さんも実に多様です。このような多様性が，未来の水産を切り拓く原動力になるのです。大事なことは，この多様性を互いに尊重しあうことで，そうすれば，人と人とのつながりが広がり，気がつけば，多様な水産世界の大海原を，自由に泳ぎ回る皆さんがいることでしょう。

結びに，皆さんの大学生活が実りあるものになることを祈念し，校長の式辞といたします。

令和3年4月6日

水産大学校校長 須田有輔